

# 2018年3月期 第1四半期 業績概要

橋本 裕一

アンリツ株式会社

代表取締役社長 グループCEO

2017年7月28日



東証第1部 : 6754  
<http://www.anritsu.com>

**Anritsu**  
envision : ensure

# 注 記

---

本資料に記載されている、アンリツの現在の計画、戦略、確信などのうち、歴史的事実でないものは将来の業績等に関する見通しであり、リスクや不確実な要因を含んでおります。将来の業績等に関する見通しは、将来の営業活動や業績に関する説明における「計画」、「戦略」、「確信」、「見通し」、「予測」、「予想」、「可能性」やその類義語を用いたものに限定されるものではありません。実際の業績は、さまざまな要因により、これら見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。

実際の業績に影響を与えうる重要な要因は、アンリツの事業領域を取り巻く日本、米州、欧州、アジア等の経済情勢、アンリツの製品、サービスに対する需要動向や競争激化による価格下落圧力、激しい競争にさらされた市場の中でアンリツが引き続き顧客に受け入れられる製品、サービスを提供できる能力、為替レートなどです。

なお、業績に影響を与えうる要因はこれらに限定されるものではありません。また、法令で求められている場合を除き、アンリツは、あらたな情報、将来の事象により、将来の見通しを修正して公表する義務を負うものではありません。

---

# 目次

I. 事業概要

II. 2018年3月期第1四半期 連結決算概要

III. 2018年3月期 通期業績予想（連結）

IV. 5Gネットワークを支える  
アンリツのソリューション

# I. 事業概要

## T&M事業

開発・製造・建設・保守用



- ▶ モバイル市場 : LTE, 3G
- ▶ ネットワーク・インフラ市場 : 有線・無線NW
- ▶ エレクトロニクス市場 : 電子部品、無線設備

## PQA事業

- ▶ 食の安全・安心
- ▶ X線異物検出機
- ▶ 重量選別機

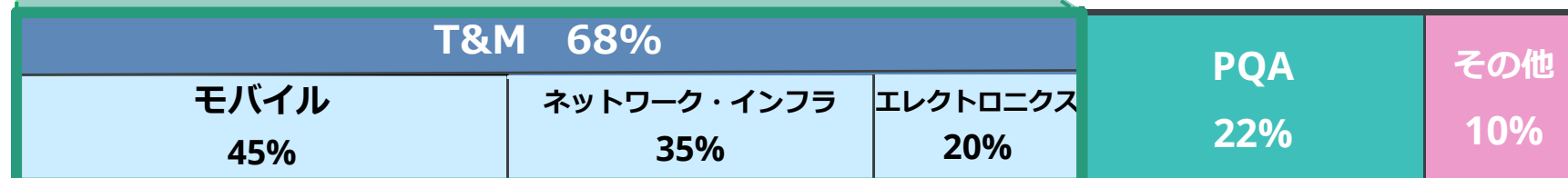


## その他

- ▶ IPネットワーク機器
- ▶ 光デバイス



(セグメント別売上比率) 2017年3月期 実績 (連結) : 876億円



(T&M事業 地域別売上比率)



T&M: Test & Measurement    PQA : Products Quality Assurance

## II- 1. 連結決算概要 - 業績サマリー -

### ➡ 減収・減益

(単位：億円)

国際会計基準(IFRS)	前第1四半期 (4-6月)実績	当第1四半期 (4-6月)実績	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率(%)
受注高	209	202	△7	△4%
売上高	203	194	△9	△4%
営業利益	7	△2	△9	-
税引前利益	0	△2	△2	-
当期利益	0	△2	△2	-
当期包括利益	△28	2	30	-

(注) 値はそれぞれの欄で四捨五入

## II- 2. 連結決算概要 - 事業別売上高・営業利益 -

(単位：億円)

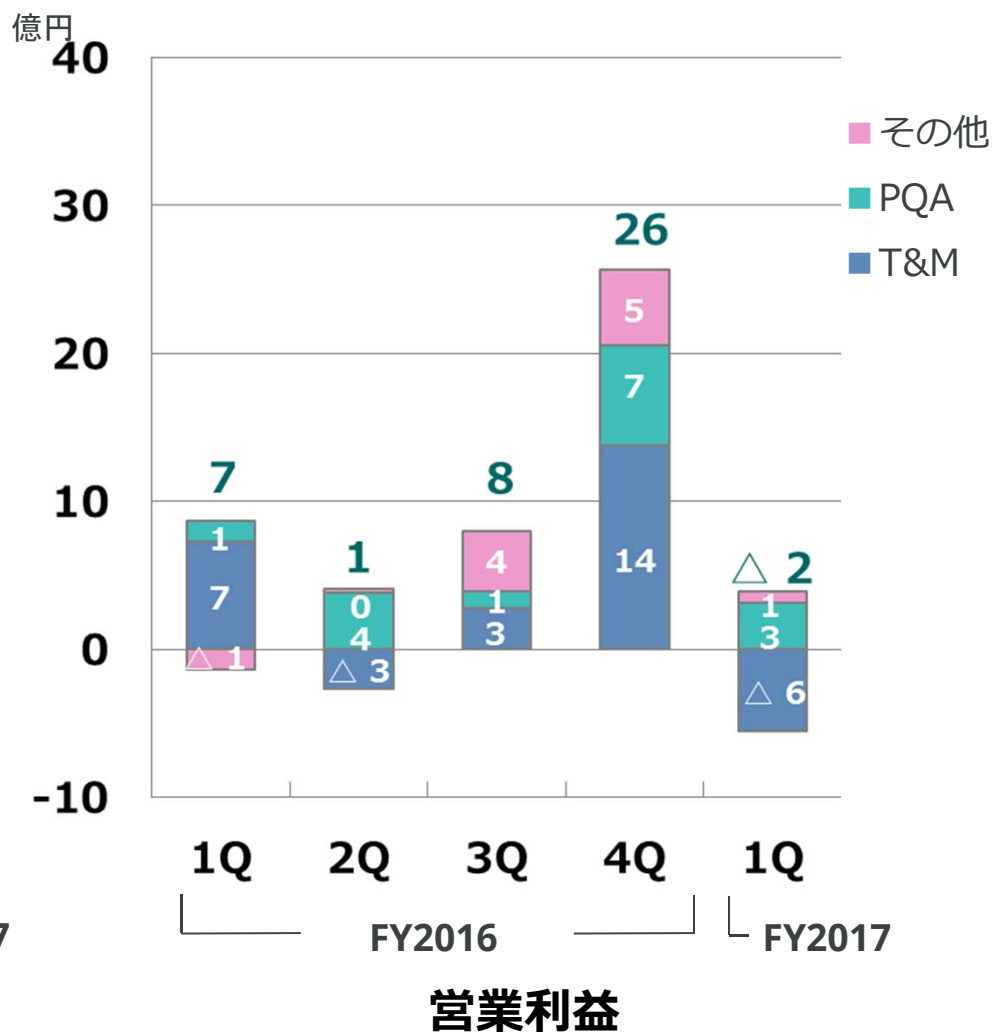
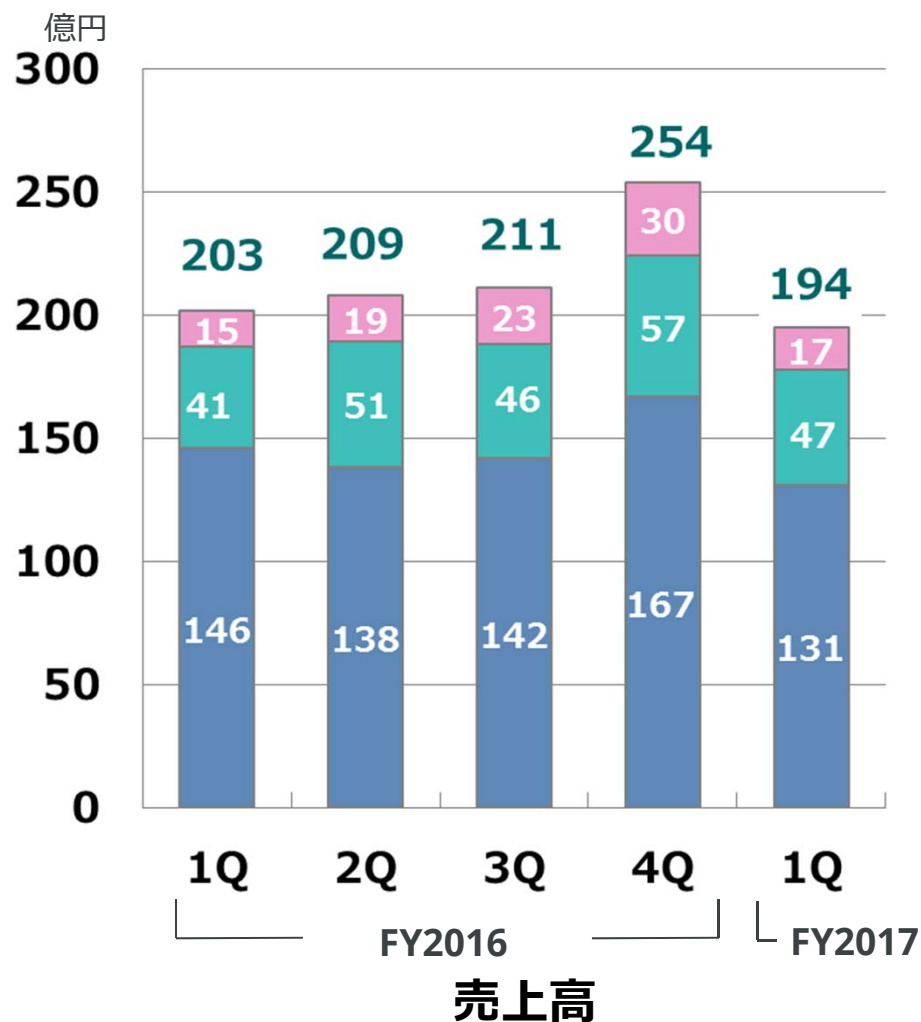
国際会計基準(IFRS)		前第1四半期 (4-6月)実績	当第1四半期 (4-6月)実績	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率(%)
T&M	売上高	146	131	△ 15	△ 11%
	営業利益	7	△ 6	△ 13	-
PQA	売上高	41	47	6	14%
	営業利益	1	3	2	137%
その他 (含：内部消去)	売上高	15	17	2	10%
	営業利益	△ 1	1	2	-
合計	売上高	203	194	△ 9	△ 4%
	営業利益	7	△ 2	△ 9	-

(注) 値はそれぞれの欄で四捨五入

T&M: Test & Measurement    PQA : Products Quality Assurance



## II- 3. 連結決算概要 - 四半期毎 売上高・営業利益 -

➡ 第1四半期の連結およびT&Mは営業赤字



(注) 値はそれぞれの欄で四捨五入

## II- 4. 事業別営業概況

セグメント	2018年3月期第1四半期（4月-6月）の状況	
<p> <b>T&amp;M</b> : スマホ関連市場の投資抑制は更に続く</p>		
モバイル	LTE-Advanced	1Gbpsに期待するも慎重な投資が続く
	5G, IoT, Connectivity	オートモティブ・5G / IoTの開発案件が具体化
NW	光デジタル関連への設備投資は堅調	
アジア	スマホ製造市場全体の成長鈍化で投資抑制	
米州	北米オペレーターの基地局関連投資が縮小	
<p> <b>PQA</b> : 国内・海外とも食品メーカーの投資意欲が旺盛に推移</p>		

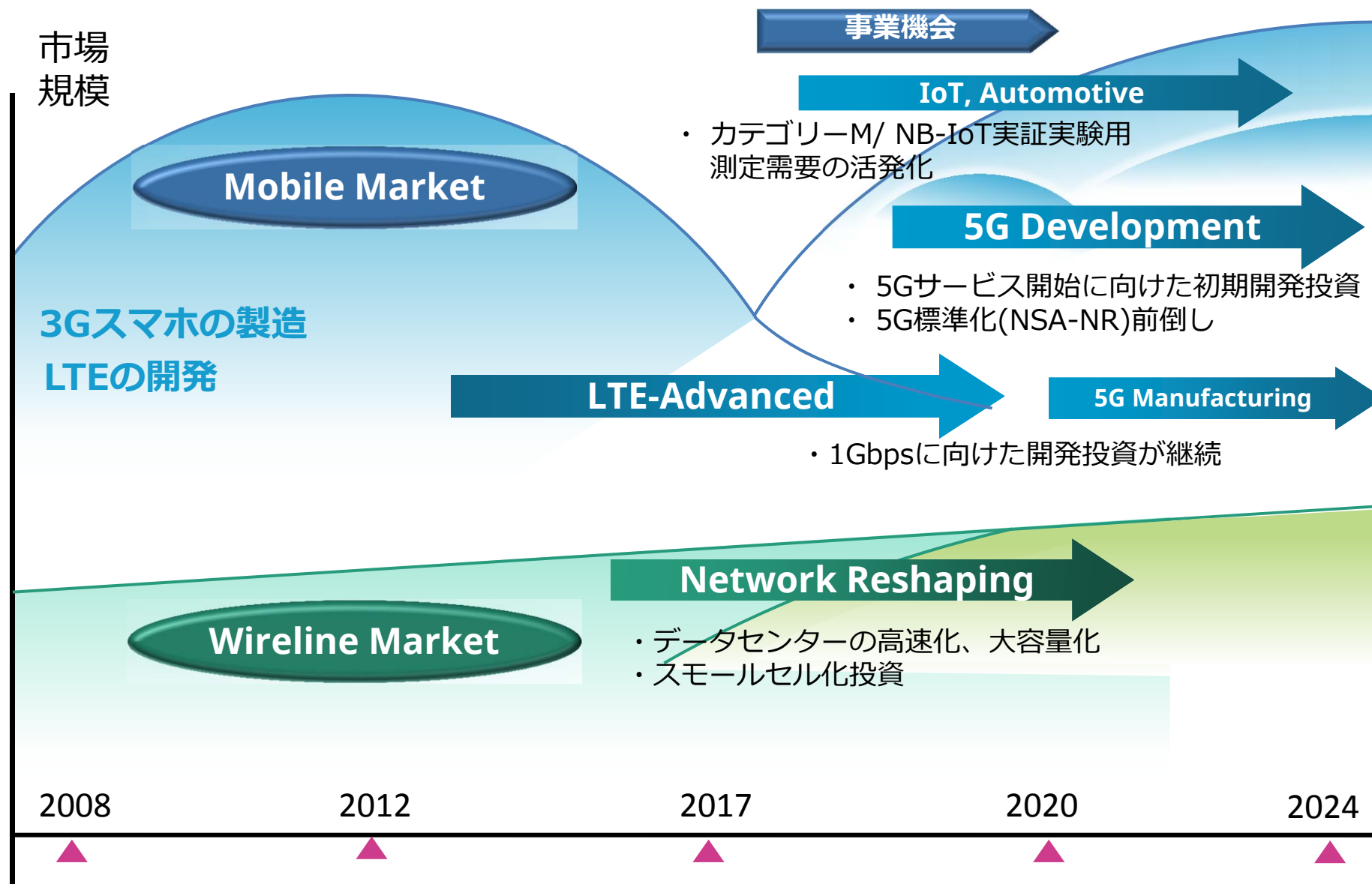
T&M: Test & Measurement

NW: Network Infrastructure

PQA : Products Quality Assurance



## II- 5. T&M事業 計測市場トレンドと事業機会

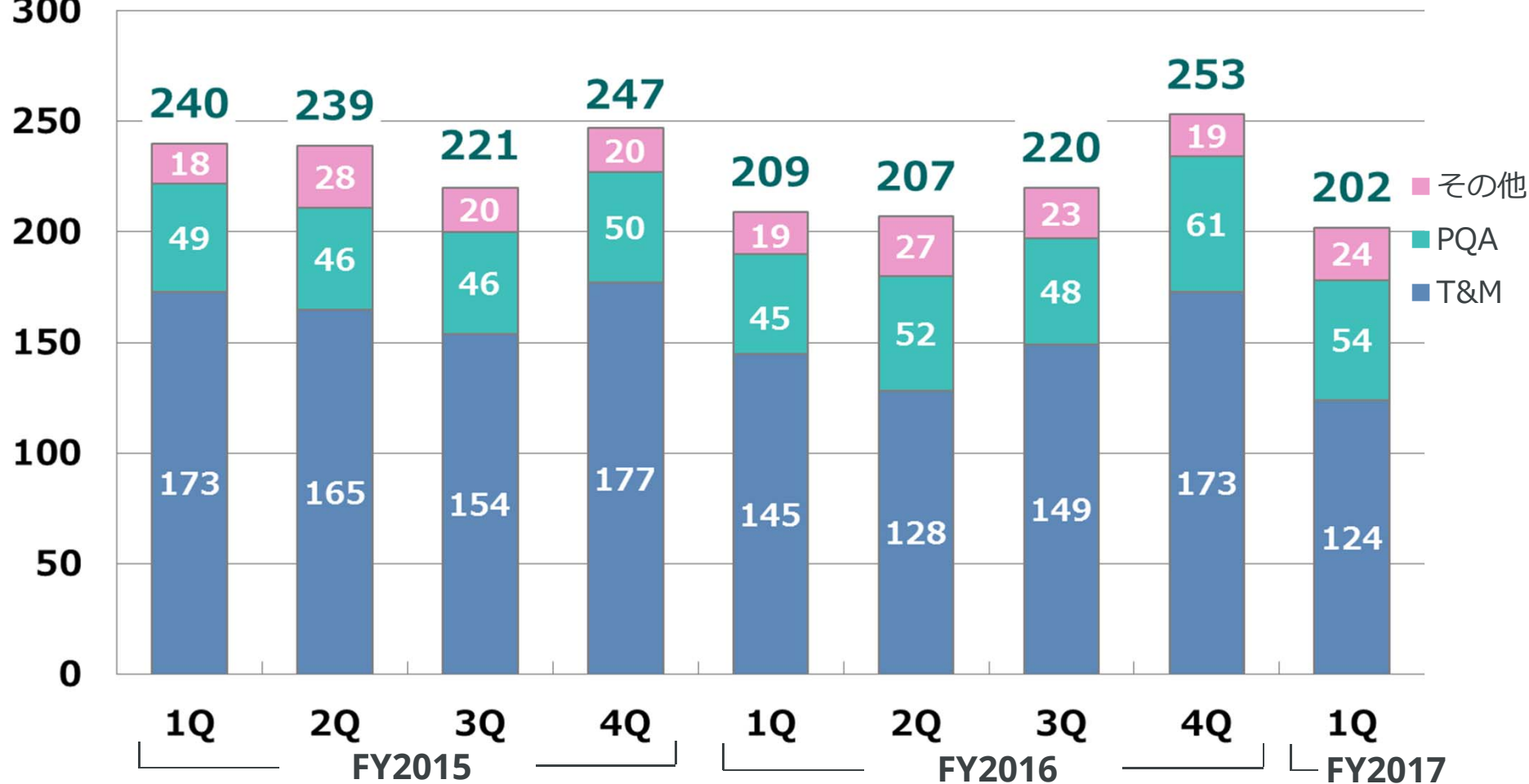


## II- 6. 受注高推移

➡ T&M：モバイル計測市場の低迷で前年割れとなる

➡ PQA：第1四半期として過去最高

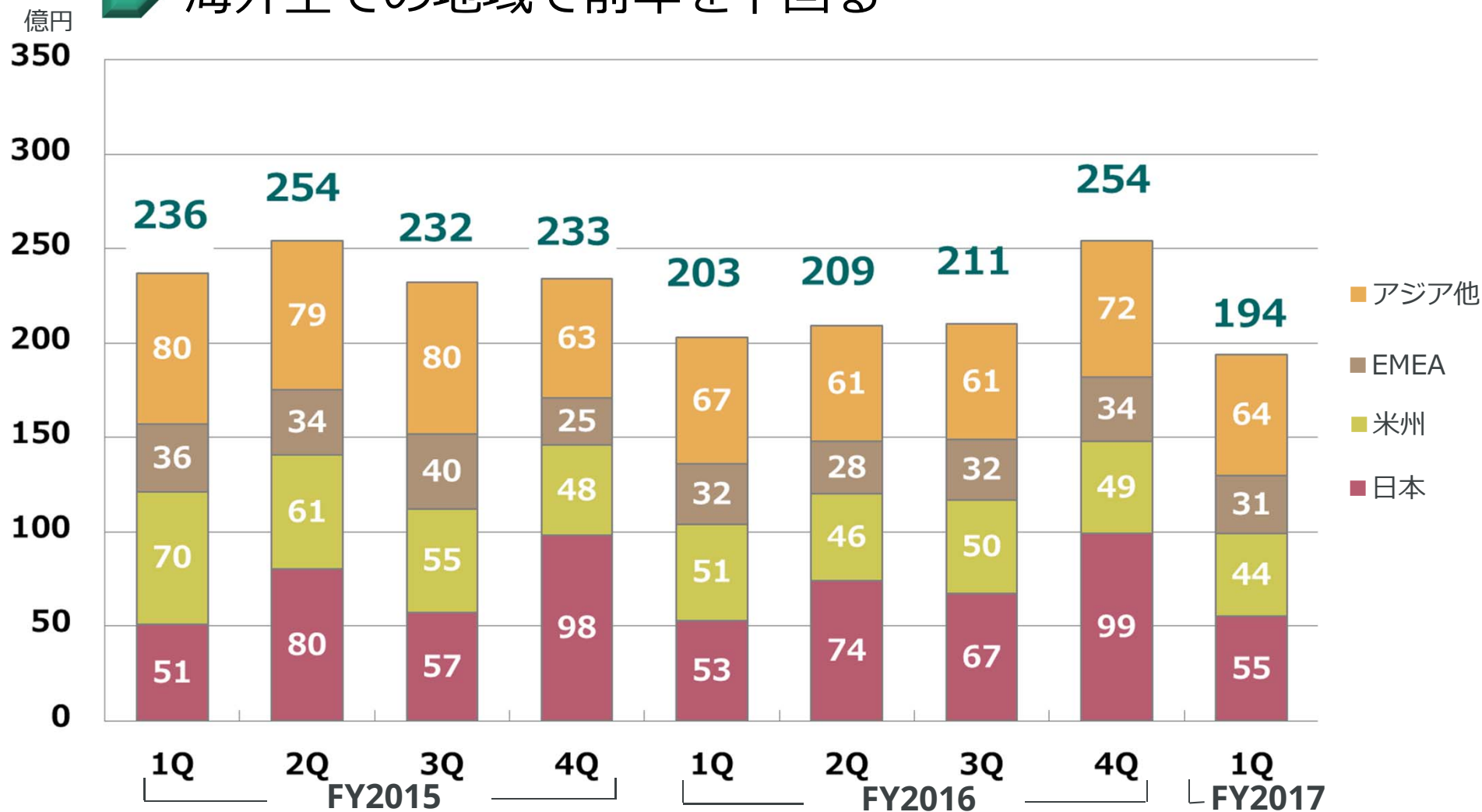
億円  
300



(注) 値はそれぞれの欄で四捨五入

## II- 7. 地域別売上高推移

海外全ての地域で前年を下回る



(注) 値はそれぞれの欄で四捨五入

## II- 8. キャッシュフロー

➡ 営業CFマージン率25.8%

内訳

(単位：億円)

### FY2017 Q1

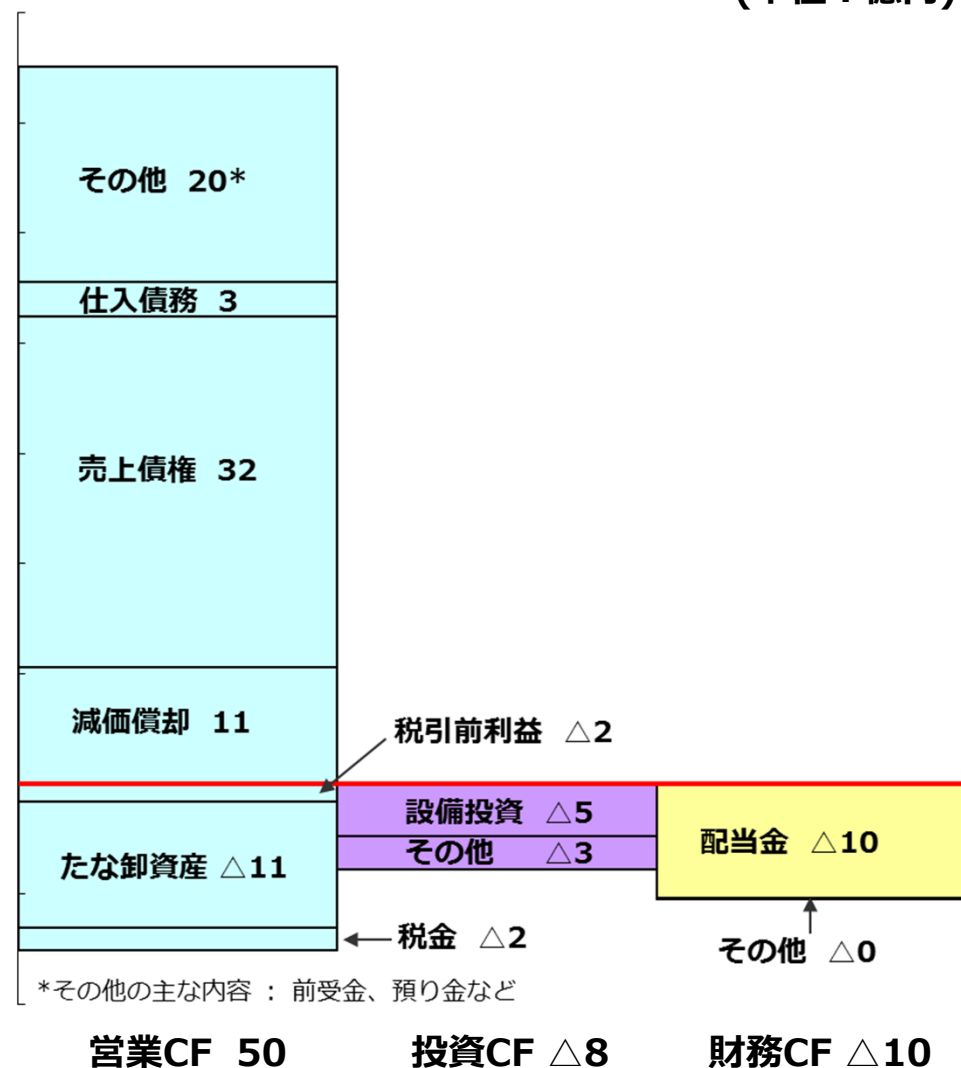
- ①営業CF： 50億円
- ②投資CF： △ 8億円
- ③財務CF： △10億円

フリーキャッシュフロー  
(① + ②)： 42億円

現金同等物期末残高  
431億円

有利子負債高  
220億円

(注) 値はそれぞれの欄で四捨五入



### Ⅲ. 2018年3月期 通期業績予想（連結）

➡ 4月27日公表値のとおり

（単位：億円）

		2017/3期	2018/3期		
		前期実績	通期予想	前期比 増減額	前期比 増減率(%)
売上高		876	910	34	4%
営業利益		42	44	2	4%
税引前利益		36	42	6	16%
当期利益		27	30	3	10%
T&M	売上高	593	610	17	3%
	営業利益	21	22	1	3%
PQA	売上高	196	215	19	10%
	営業利益	13	15	2	15%
その他 (含：内部消去)	売上高	87	85	△ 2	△ 2%
	営業利益	8	7	△ 1	△ 13%

（注）値はそれぞれの欄で四捨五入

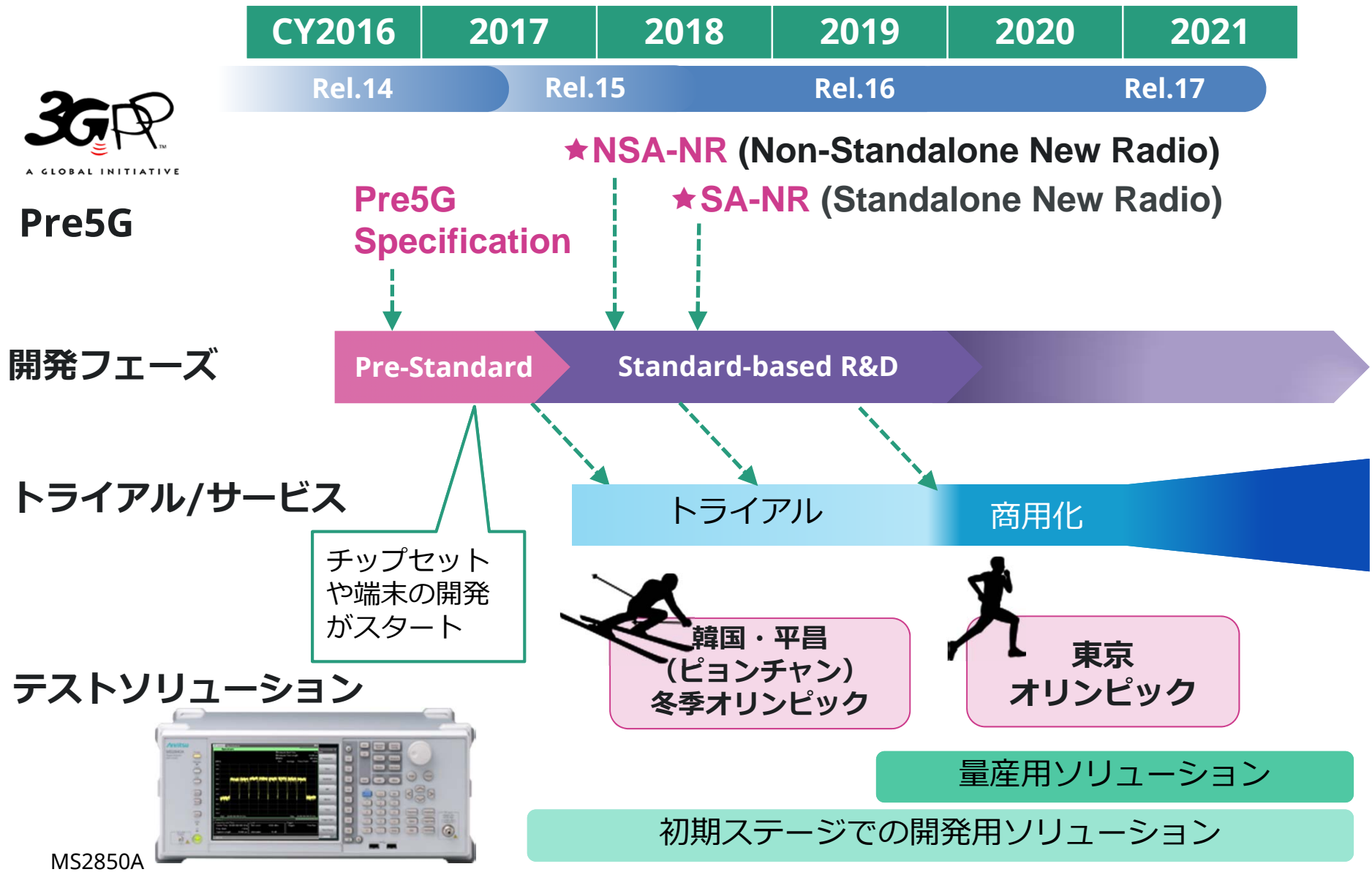
（参考）FY16為替レート : 1米ドル108円、1ユーロ=119円  
 FY17想定為替レート : 1米ドル110円、1ユーロ=120円

# IV. 5Gネットワークを支える アンリツのソリューション

アンリツ株式会社  
取締役専務執行役員  
計測事業グループプレジデント

**濱田 宏一**

# IV-(1) 5G最新動向とテストソリューション



MS2850A

## IV-(2) 5G向けソリューション第一弾



MS2850A シグナルアナライザ

5Gの基地局や端末のR&D、製造に必要なミリ波測定ソリューションを今までに無い低価格で実現したシグナルアナライザ

周波数範囲：9 kHz~32 GHz/44.5 GHz

解析帯域幅：255 MHz (標準)、510 MHz (オプション)、1GHz (オプション)

### 今までのLTE用のシグナルアナライザ



- 6GHz以下の周波数が主体
- 解析帯域は20MHzから数百MHz

### 5G用のシグナルアナライザ



- 44.5GHzまでの周波数をカバー
- 解析帯域は1GHzまで対応
- 商用開発、製造で導入できる低価格





Anritsu  
envision : ensure

